

### 3.2 河川整備計画の<sup>たいしゅうくかん</sup>対象区間と<sup>たいしゅうきかん</sup>対象期間及びブロック分割

#### (1) 対象区間

河川整備計画において対象とする区間は、下表に示す<sup>こくどうつうしょうかんりくかん</sup>国土交通省管理区間と<sup>くまもとけんかんり</sup>熊本県管理区間とします。

白川水系の河川整備計画対象区間

	国土交通省の管理区間	延長	熊本県の管理区間	延長
白川	河口 ～ 小碓橋 (熊本市 新南部町)	17.3km	小碓橋 (熊本市 新南部町) ～ (立野ダム(白川)) ～ 谷相砂防堰堤 (阿蘇郡 白水村 大字 白川)	42.77km
黒川			九電取水口 (阿蘇郡 長陽村 大字 河陽) ～ 松原橋 (阿蘇郡 一の宮町)	38.8km
立野ダム (白川)	左岸：菊池郡 大津町 大字 外牧 右岸：阿蘇郡 長陽村 立野 字 古村 ～ 左岸：阿蘇郡 久木野村 大字 河陰 右岸：阿蘇郡 長陽村 大字 河陽	3.1km		
立野ダム (黒川)	白川合流点 ～ 九電取水口 (阿蘇郡 長陽村 大字 河陽)	1.3km		

#### (2) 対象期間

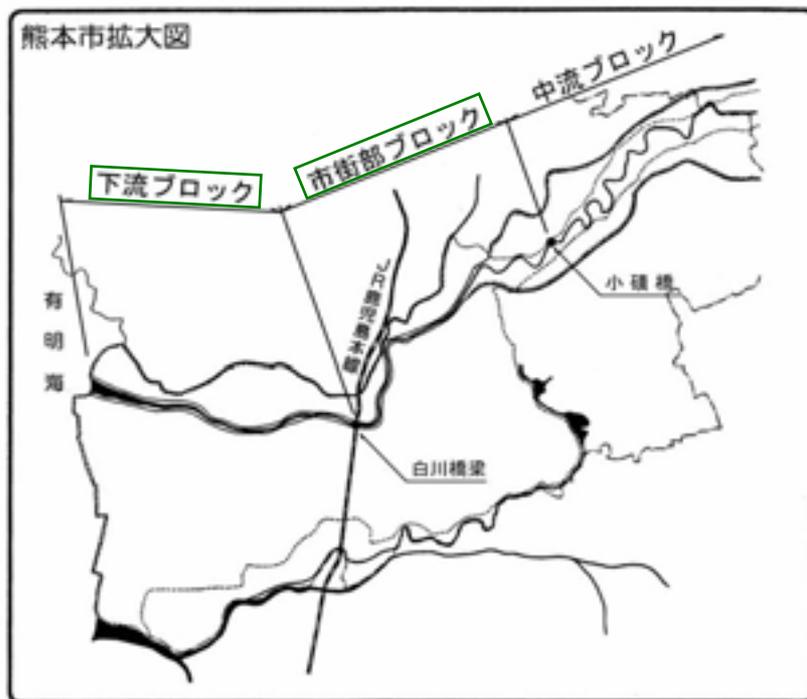
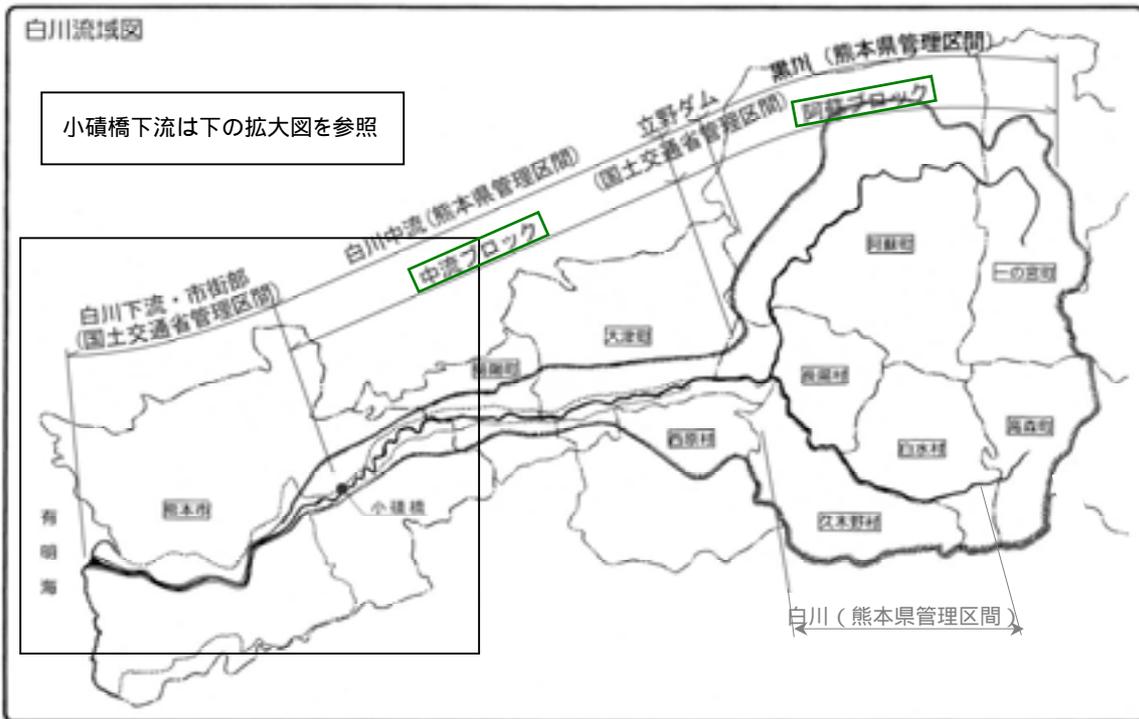
河川整備の当面の目標はおおむね 20～30 年とします。

#### (3) ブロック分割

白川の河川整備の目標を策定するうえで、沿川の特性に応じて次の 4 つのブロック（区域）に分割することとします。

白川・黒川のブロック分割

ブロック名	区間	流域の特徴
阿蘇ブロック	谷相砂防堰堤（白川）～立野 松原橋（黒川）～立野	阿蘇のカルデラ地形。自然が豊かで、 田畑、 <sup>ほうぼくち</sup> 放牧地としての <sup>とちりよう</sup> 土地利用。
中流ブロック	立野 ～小碓橋	<sup>かがんだんきゅう</sup> 河岸段丘が発達。田畑としての土地利用。小碓橋上流側 9.4km では市街化が進んでいる。
市街部ブロック	小碓橋 ～白川橋梁（JR 鹿児島本線）	子飼橋付近から下流側は、 <sup>てんじょうかわ</sup> 天井川となる。熊本市中心部を擁し、市街化が進んでいる。人口が <sup>みつしゅう</sup> 密集する。
下流ブロック	白川橋梁（JR 鹿児島本線） ～河口	平坦な <sup>ちゅうせきち</sup> 沖積地。沿川は田畑として利用されているが、 <sup>としか</sup> 都市化が進みつつある。



河川整備計画対象区間及びブロック分割図